



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す生徒像 「あいさつ・がまん・あとしまつ」のできる生徒

村上市立荒川中学校
令和5年度第1号
令和5年4月14日発行

明るい今後を切に願って

校長

例年より早い満開の桜の中で、令和五年度がスタートしました。春休みには、元気に部活動に取り組む姿や新一年生の歓迎ボランティア活動に、一生懸命取り組む姿がありました。最高学年になった自覚や後輩ができた喜びなど、進級して「さあ、頑張るぞ」という意欲を強く感じ、うれしくなりました。新しい職員を迎えた新任式では、代表生徒から「着任した先生方と一緒に、勉強や部活動で多くのことを学びたいです」と歓迎の言葉がありました。始業式では、学年の代表生徒から新学期の抱負として「受験勉強や部活動を頑張るためにSNSの時間を調整します」、「人と良好な関係結びます」という決意が力強く述べられました。前向きな生徒の姿から、私たちも生徒と共に頑張ろうと決意を新たにしました。

四月七日、希望に満ちた新入生六十三名の入学式が行われました。式辞の中で三つ話しました。一つ目は、自他の命と健康・安全を大切にして生活することです。コロナ感染症対策を引き続き継続し、お互いに思いやりをもって温かい雰囲気で学校生活を送ってほしいです。二つ目は、夢の実現や目標達成のために、勉強に力を入れることです。そのためにも睡眠時間を十分に取って、元気に登校することです。三つ目は、悩みや心配事は遠慮しないで相談することです。中学生の頃は

思春期で、悩みや不安を感じやすいものです。困ったときは早めに先生や大人に相談して、悩みや不安を解消して前向きに生活してほしいと願っています。先生方も相談には、親身になって対応します。以上三つのことは、「あいさつ・がまん・あとしまつ」のように、生活するためにとても大切なことです。

今月初めに村上ふれあいセンターで開催された、三つのだ自慢大会では、若い人から年配の方々まで、得意な歌を明るく元気に熱唱していました。見ている私たちも元気をいただきました。荒川地区スポーツ少年団の入団式では「上手くなって試合で勝ちたい」、「いろいろなイベントで素晴らしい演技をしたい」など、未来を担う子どもたちの希望に満ちた抱負を聞くことができ、私たち大人が励まされたようでした。これからの学校生活が明るく希望のもてるものであってほしいと切に願っています。

コロナ感染症も落ち着きを見せています。入学式でもご来賓の皆様をお招きしました。教育活動も普段通りに行うことができるように検討いたします。昨夏の豪雨災害に負けず、懸命に努力を続ける地域の方と共に荒川中学校も歩んで参ります。今年度も地域の方々や保護者の皆様から、お力をお借りしながら前向きに教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。